

医師 対象コース



研修の目的



結核対策上、保健所等において公衆衛生に携わる医師と医療機関において臨床に携わる医師の役割は大変重要です。結核の基礎に加え、各コースの対象に応じて行政・臨床に役立つ最新の知識・技術および情報を提供します。また、各地域の結核対策上の課題および今後の方策について協議を重ねたいと思います。

なお、当所研修は日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医・指導医認定制度の単位取得の対象となっています。



研修コース紹介



研修コース名・開催期間	対象	研修内容
医師・対策コース 第1回： 平成30年 6月12日～15日 第2回： 平成30年10月30日～11月2日	保健所等行政 に携わる医師	結核の基礎から結核対策に関する最新の知識を学ぶための、行政医師向けのコースです。結核の感染から発病に至るメカニズム、感染及び発病診断と治療、結核に関する細菌学、胸部X線読影、結核の疫学、接触者健康診断の検討や集団発生調査の基礎など、保健所や本庁での業務に役立つ内容となっております。行政医師はもちろん、地域の結核対策に携わる臨床医にとっても、日常の診療業務に充分参考になる内容です。 ※第1回、第2回のコースは同じ内容です。
医師・臨床コース 平成30年 11月 8日～10日	結核の診断・治療 に携わる医師	結核の診断、治療、抗酸菌検査などの結核の基礎に関する講義のほか、非結核性抗酸菌症の講義や実際に診療された事例を基にした症例検討など、より臨床に即した実践的な研修となります。結核高度専門医療施設である複十字病院呼吸器内科の医師による講義を中心に、結核診療の最新情報を学ぶことができます。

